

# 新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名 一般国道14号 湾岸千葉地区改良	事業区分 一般国道	事業主体 直轄
-------------------------	-----------	---------

起終点 自：千葉県千葉市中央区登戸1丁目 至：千葉県千葉市中央区千葉港	延長 1.0 km
--	-----------

**事業概要**  
 東京湾岸道路は、千葉県を起点に東京・川崎・横浜の臨海部を経て横須賀に至る主要幹線道路である。このうち「14号湾岸千葉地区改良」は東京湾環状道路の一部をなし、千葉市内の主要な交差点を立体化することにより、円滑な交通機能の確保と沿道環境改善を図るものである。

**事業の目的、必要性**  
 ・千葉市内の一般国道14・16号はほぼ全線にわたって交差点を中心に混雑をきたし、環境悪化が著しい地域である。  
 ・さらに臨海部の商業施設・レクリエーション施設等の立地の進展により、更なる渋滞の悪化が予想される。特に千葉市役所前付近は交差点が短い間隔で連担しており、渋滞の原因となっているため、当該交差点を立体化することにより、円滑な交通機能の確保と沿道環境改善を図る。  
 ・また、千葉市は、当該周辺を「千葉都心」地区に位置づけ、都心整備を進めており、市のシンボルロードとしての道路整備促進を強く要望。

全体事業費 220億円	計画交通量 38,600台/日		
費用便益比 B/C 3.3	総費用 204億円 事業費：202億円 維持管理費：2億円	総便益 683億円 走行時間短縮便益：657億円 走行費用減少便益：21億円 交通事故減少便益：5億円	基準年 平成15年

**事業の効果等**  
 ・良好な環境の保全・形成（騒音レベルが夜間要請限度を超過している箇所を含む）  
 ・地域・都市の基盤形成（市街地再開発、区画整理の計画あり）  
など8項目に該当

**関係する地方公共団体等の意見**  
 ・当該道路は、一般国道14・16号の混雑緩和、千葉市臨海部の蘇我副都心の開発等のために不可欠な道路であり、東京湾環状道路並びに関連道路建設促進期成同盟会（会長：千葉県知事）、平成14年度国の予算編成に対する重点要望（千葉市長）により、早期事業化の要望等を受けている。

